

P-747

圧着工具

(裸端子(スリーブB・P)・絶縁被覆付端子(スリーブB・P)用)



裸圧着端子・裸圧着スリーブ (B・P) 用



絶縁被覆付端子・スリーブ (B・P)



●成形確認機構付

ご使用上の注意

⚠ 警告

1. 電気が流れている個所には使用しないでください。感電のおそれがあります。
2. 成形確認機構を外したり、改造したりしないでください。

⚠ 注意

1. 仕様・適応サイズ以外に使用しないでください。
2. ご使用前に各部に損傷がないかをチェックしてください。損傷がある場合は、販売店もしくは当社までお問い合わせください。工具に損傷があると、圧着不良による火災のおそれがあります。
3. 圧着不良を防ぐために定期的な点検を実施してください。
4. 圧着不良が原因で起こるいかなる損害についても、当社は一切責任を負いかねます。
5. 成形確認機構により、ハンドルは圧着作業が完了するまで開かない構造になっています。ハンドルが開くまで荷重を加えてください。無理に開こうとすると破損のおそれがあります。
6. 高所作業の際は工具の落下にご注意ください。事故やケガのおそれがあります。

適応ダイス

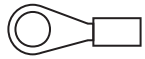
ご使用の端子と電線の組み合わせにより、下表を参考に、使用するダイス（本工具の圧着箇所）をお選びください。



	使用するダイス	端子の呼び	適応電線範囲 (参考)		圧着マーク
			AWG #	mm ²	
絶縁被覆付端子・スリーブ (B・P)	0.3	0.3	24~20	0.2~0.5	-
	0.5	0.5			
	1.25	1.25	20~16	0.25~1.65	
裸端子・裸スリーブ (B・P)	1.25	1.25	22~16	0.25~1.65	1
	2	2	16~14	1.04~2.63	2

※端子と電線の組合せは端子メーカーの仕様をご確認ください。

●絶縁被覆付端子は、ストレート型、拡管型のどちらの端子にもご使用になれます。



ストレート型



拡管型

使用方法

1 ハンドルを強く握り、成形確認機構を解除します。

⚠ 注意

解除されたハンドルが勢いよく開くことがありますので、注意しながらゆっくりと開いてください。

2 選定したダイス部に端子をくわえ、端子が落ちない程度に軽くハンドルを閉じます。端子の接合部がダイスの凸側にくるようにくわえて保持します。

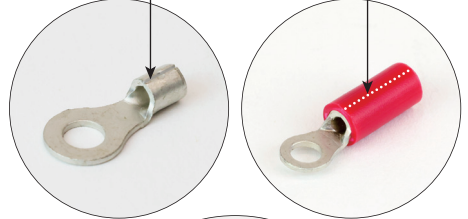
表側



裏側



端子の接合部



絶縁端子の場合は、ダイスの表側の面と端子の電線挿入口端面が面一になるようにして圧着します。

裸端子の場合は、端子のスリーブ部中央にダイスの凸部がくるようにして圧着します。

⚠ 注意

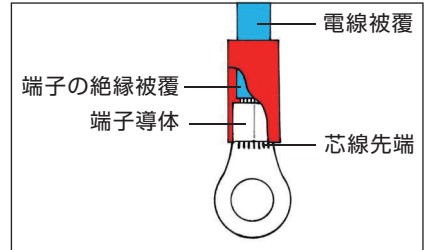
間違った向きや位置に端子をセットすると、正しく圧着できませんのでご注意ください。



使用方法

- 3 被覆をストリップした電線を、保持している端子に適切な深さまで挿入します。
電線のストリップ長は各端子により決められていますので、詳しくはご使用端子の仕様をご確認ください。

- 4 成形確認機構が解除になる（ハンドルが自動的に開く状態）まで、ハンドルを閉じます。
解除されたことを確認し、ハンドルをゆっくりと開いて圧着した端子を本器より取り出します。



- 5 正しく圧着された場合、端子に圧着マークが入ります。（※裸端子のみ）
適切な位置に正しいマークが入っているか必ず確認してください。



長くお使いいただくために

使用後はピンおよび摺動部へ注油し、油を含ませたウエスで金属部全体を拭い、汚れを取り除いてください。
サビや摩耗を防ぎ寿命を延ばします。
また、圧着不良を防ぐために定期的な点検を実施してください。
詳しくは当社Webサイトの『圧着工具の点検方法』をご覧ください。

ホーサン株式会社

本社 〒556-0021 大阪市浪速区幸町1-2-12

製品・補修部品はWebサイトにてご購入いただけます。

<https://www.hozan.co.jp/>



技術的なお問い合わせ

ホーサン テクニカルホットライン

☎06-6567-3132 / E-mail : th@hozan.co.jp

【月曜日から金曜日（祝日を除く）の10:30～12:00、13:00～17:00】